

1 本校のミッション（使命、存在意義）

幅広い知識と教養を培う複数学科を有する高校として、多様な進路希望に応えるとともに、地域等と連携した課題解決型学習等の推進により、社会の変化に対応する力を高める教育活動を通して、社会で活躍し、その発展に貢献する人材の育成を目指す。

2 学校内外の環境分析

- 【校内】・生徒は、素直で真面目であり、よく挨拶ができる。
- ・少人数授業や習熟度別授業、二人担任制を実施してきめ細かい指導ができています。
 - ・普通科と家政科があることで、多様な活動ができる。
 - ・生徒は、進学から就職まで幅広い進路希望をもっている。
- 【校外】・街全体が落ち着いた環境にある。
- ・地元の同窓生から協力が得られる。
 - ・地域の大学や施設との連携が続き、人的支援が得られ施設利用ができる。
 - ・学区内の中学校卒業生数が減少している。

3 ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

- 県下有数の伝統校、備北地区の拠点校として、地域の期待に応える教育を提供する学校。
- 幅広い教養を備え、社会の規範を尊重し、主体的に行動できる生徒を育成する学校。
- 生徒の個性を伸ばし、進路実現に結びつける学校。
- 「文武不岐」を实践する学校。
- 高い専門性と行動力で、生徒と真剣に向き合う教職員集団を有する学校。

4 令和5年度の重点目標

1 学校の情報発信

- ① 戦略的かつ効果的な広報活動による生徒募集
- ② 保護者の学校理解の促進

2 方谷学の深化

- ③ 地域と連携した課題解決型学習（PBL）の充実
- ④ 教職員の指導力向上

3 スクール・ポリシーに基づく、資質・能力を育成する教育活動の充実と重点化

- ⑤ 教科指導・方谷学における「情報を分析し表現する力」
「論理的・多面的に思考する力」の育成
- ⑥ 学校行事における「受容する力・対話する力」「協働する力」の育成

4 ICTの効果的活用の促進

- ⑦ ICTを活用した効果的な教科指導と観点別評価

5 自己管理のできる生徒の育成

- ⑧ 学習習慣の定着と学習時間の伸長
- ⑨ 治療率の向上

6 働き方改革の推進

- ⑩ 意識改革・定時退校日設定による業務時間の短縮
- ⑪ ICT活用による業務時間の縮減